

シルバー やまがた

第129号 平成30年1月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,060名 賛助会員 43個人・70団体(12月末現在)



陽が昇る (第4地区 明石 務さん撮影)

—— 内容紹介 ——

- | | | | |
|----|--|------|-----------------------|
| P2 | 新年のご挨拶 (山形市長)
新年を迎えて (理事長) | P5 | わが街自慢 |
| P3 | 地区班・職群班と担当理事制について
地区班長と理事との意見交換会を開催 | P6~7 | 会員のひろば |
| P4 | 事業普及啓発活動を実施
安全就業について | P8 | 就業会員を訪ねて |
| | | P9 | 人あり・技あり・心あり
新入会員紹介 |
| | | P10 | 事務局だより |

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索



名誉会長・山形市長 佐藤 孝 弘

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうござい
ます。

会員の皆様におかれましては、輝
かしい新年をお迎えのことと心より
お慶び申し上げます。

公益社団法人山形市シルバー人材
センターにおかれましては、会員の
皆様方の知識・技能・経験を活かし
た就業活動や、清掃等のボランティア
活動など、多岐にわたる事業を展
開され、地域社会の活性化と福祉の
増進に大きくご貢献いただいております。

また、生涯現役で活躍できるまち
づくりを目指し、昨年四月に本市芳
野地内にオープンした「よりあい
茶屋」の事務局の中心としてご尽力
をいただいております。長瀬理事長をは
じめ会員の皆様に対し、衷心より敬
意と感謝を申し上げます。

さて、少子高齢化の急速な進行に
よる人口減少社会を迎え、団塊の世
代の定年退職による労働力不足や現
役世代の社会保障費の負担等が大き
な課題となっている中、将来にわた
り社会の活力を維持していくために
は、働く意欲をもった高齢者の方々
が地域社会の担い手として、社会参

加できる環境づくりが不可欠であり
ます。

このような中、山形市では、世界
に誇る健康・安心のまち「健康医療
先進都市」の実現を目指し、「いき
いきと年齢を重ねられるまちづく
り」を重点政策のひとつに掲げ、住
み慣れた地域で生きがいを持ち、い
きいきと健康に生活できるよう、ま
様々な施策に鋭意取り組んでおりま
す。

こうしたまちづくりを着実に推進
していくためには、地域社会の労働
需要と豊かな経験で培われた知識や
技能をお持ちである高齢者の労働力
とを結びつける貴センターのご支援
ご協力が不可欠でありますので、今
後ともより一層のお力添えを賜りま
すようお願い申し上げます。そして、
会員の皆様、これからもますます
お元気で活躍されますことを心か
らご期待申し上げます。

結びに、公益社団法人山形市シル
バー人材センターのますますのご発
展と、新しい年が皆様にとりまして
希望に満ちた明るい一年になります
よう心からお祈り申し上げます。新年の
ご挨拶いたします。



理事長 長瀬 洋 男

新年を迎えて

明けましておめでとうござい
ます。会員の皆様には、輝かし
い年を迎えられましたこととお
喜び申し上げます。また、昨年
中は皆様には特段のご支援、ご
協力を頂き、厚くお礼申し上げ
ます。

昨年は、平成二十八年度より
取り組んできた「三年間事故ゼ
ロ」の取り組みにおいて、残念
ながら四件の事故が発生してし
まいました。また、県内のシル
バー人材センターでは、剪定作
業中の転落事故により死亡事故
が発生しました。

当センターの事故においても、
作業前の安全確認や基本的な作
業ルールが守られなかったため
に発生した事故となっております。
会員の皆様においては、今後も
安全就業を心掛けていただき、
事故発生のないようにご協力を
お願いいたします。

当センターの事業においては、
ここ数年派遣事業の実績が大き
く伸びております。全国的にも
「高年齢者等の雇用の安定等に

関する法律」の改正により、シ
ルバー派遣就業が週四十時間ま
で可能となったことから、ます
ます派遣事業の需要が高まるも
のと考えられます。

派遣事業、請負事業ともに業
績が拡大していますが、依然と
して女性会員を中心として会員
の確保が大きな課題となってい
ます。このため、引き続き
「一…一運動」の推進について、
会員一人一人が友人、ご近所の
皆様にご紹介してくださるよう
お願い申し上げます。

今年、厚生労働省の委託事
業である「生涯現役促進地域連
携事業」の二年目にあたります。
昨年度以上に高年齢者の新規就
業の推進、よりあい産直・農園
事業、観光ボランティアガイド
の養成に当センターも参画して
まいりますので、皆様のご理解
とご協力をお願いいたします。

今年一年が皆様にとって良い
年となりますようご祈念申し上
げ、新年のご挨拶いたします。

地区班・職群班と担当理事制について

事務局長 笹原 信之

役員及び会員の皆様には、平素より当シルバー人材センターの運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当センターでは、毎年、地区班長及び職群・職班リーダーと担当理事との意見交換会を開催しておりますが、ここでは、再度、その目的と趣旨についてご説明したいと存じます。

シルバー事業の活性化という点においては、会員の立場と理事役員としての双方の立場から考えられますが、全国シルバー事業協会の「運営の手引き」からご説明したいと思えます。

本来、理事会の役割として、センターの組織活性化を促進するため、活動分野ごとに専門部会を設けるとともに、課題別の担当理事制を設けるなどとして、会員の組織化、活性化を検討し、実施することが求められています。また、センターの運営が事

務局任せにならないように、各部会ごとに活動し、また目標の具体的実現や課題解決のために事案ごとに担当理事を定め、担当理事を中心に個別の課題について役割を分担し、責任を持って取り組んでいくなど、理事会の積極的な活動を促す組織体制を整えることが必要とされています。一方、会員には、その自

主的・自発的な活動を促し、さらには会員の参画意識や相互の連帯感を高めるために、地区班や職群班等の会員組織を結成することはシルバー事業の趣旨、目的の上からも極めて大切なこととなっております。

今後とも、会員の皆様には、地区班や職群班等を通して、ご意見等出していただき、担当理事が事務局とともに、その課題解決や事業の活性化に取り組んでまいりたいと存じますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

地区班長と理事との意見交換会を開催

総務部会長 本木 康晴

昨年十月六日、山形テルサ大会議室において、標記の会議を開催しました。

理事長より、「お陰様で会員数が一〇四四名になりました。これは常日頃班長が地区の方に呼びかけをして頂いた一…一運動の成果が実ったものと感謝申し上げます。」との挨拶がありました。

その後出席者全員の自己紹介や、各部部长・委員長より事業の活動状況・課題等の説明がありました。

地区班長との質疑応答は主に、次のような内容でした。

①地区班において会員十人に対し組長一人であるが、担当エリアが広いので組長を一人増やしてほしい。

◆会員数が増えている地区は、会員十人に対し組長一人の目安で、事務局に連絡の上、組長を増やして頂いて良い。

②夜間宿直業務をする場合、緊

急の時、留守電に残すのみになる。

◆職員の負担軽減を考えると、輪番制で携帯電話を持ち対応する等検討したい。

③事務局及び各部会からの行事等の連絡は、余裕をもって教えて頂きたい。申し込み締め切りまでの期間が短すぎる。

◆決定しましたら速やかな連絡・対応を心がけます。他にも地区研修会やブロック研修会等がありますので、お気軽にご参加くださいます様お願いいたします。



事業普及啓発活動を実施

広報部会長 大瀧 守

十月の全国一斉シルバー事業普及啓発促進月間において、次の普及啓発活動を実施しました。
会員によるボランティア活動

- ① 十月二十五日(水)、山形駅西地区を四ブロックに分け清掃奉仕活動を行いました。当日は八十二名の会員が四班に分かれ、十時から約一時間道路沿いの清掃を行いました。



- ② 各地区研修会の開催に合わせ、公民館や公園などの清掃活動を行いました。

役員による街頭啓発活動

十月三十一日(火)、イオン山形南店・北店恒例の「火曜日」に合わせ役員・専門部会員四十一名が十時から十一時まで店頭立ち、約千二百名の方

へPRチラシを配布しながらセンター事業の利用と会員の入会勧誘を行いました。

その他の活動

- ① 市役所市政記者クラブへ啓発活動内容等についての情報提供
- ② 十月二十九日(日)から三十一日(火)まで山形テルサで開催された互助会主催文化祭、女性部会の創作品頒布会場でのPRチラシと、パネル展示による事業の紹介と入会の勧誘(総入場者数三百二十九名)
- ③ 県シルバー人材センター連合主催安全就業推進大会への参加
- ④ 会員による一...一運動の推進



安全就業のための安全心得

定款・規約の安全就業基準 第三条抜粋

- ① 作業は、安全第一を心がけ急いだりあわてたりしないこと
- ② 器具類は、使用する前に必ず点検すること
- ③ 安全装備は必ず着用すること
- ④ 服装、履物は、作業に合った動きやすいものにする
- ⑤ 作業前には、軽い準備体操をして体をほぐすこと
- ⑥ 加齢により諸機能の低下を十分認識し、無理をしないこと
- ⑦ 作業現場は、常に整理整頓を心がけること
- ⑧ 共同作業では、合図、連絡を正確に行なうこと
- ⑨ 帰宅するまでは仕事と認識し、交通事故に気をつけること
- ⑩ 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること
- ⑪ 仕事の前日は、十分睡眠をとるよう心がけること

安全就業について

安全就業推進委員会委員長 樋口 健一

十一月十五日から十七日の三日間にわたり、秋の抜き打ち不定期パトロールを実施しました。大きな問題点はありませんでしたが、緊急連絡先の携帯を忘れていた。もう一度初心に戻り就業をお願いします。

二十九年度、事故「ゼロ」を目指し活動を行っていますが、残念ながら既に四件の事故が発生しており、就業の慣れによる油断が事故を招く要因になっています。四件中二件が刈払機の物損事故でした。消費者庁からも高齢者作業の刈払機

十一月十五日から十七日の三日間にわたり、秋の抜き打ち不定期パトロールを実施しました。大きな問題点はありませんでしたが、緊急連絡先の携帯を忘れていた。もう一度初心に戻り就業をお願いします。

二十九年度、事故「ゼロ」を目指し活動を行っていますが、残念ながら既に四件の事故が発生しており、就業の慣れによる油断が事故を招く要因になっています。四件中二件が刈払機の物損事故でした。消費者庁からも高齢者作業の刈払機

もう一度就業時の基本に戻り安全な就業をお願いするとともに、左記に掲載した「安全就業のための安全心得」を再認識して頂きたいと思っております。

飯塚・榎沢地区

長南 幸二

飯塚・榎沢地区は山形市西部に位置し人口は地区全体で五五六六人（平成二九年四月一日現在）ののどかな地区です。東に蔵王連峰・北に葉山が眺望でき、

川敷で開催される山形大花火大会を、徒歩もしくは自宅で見物出来る事は大変幸運です。

地区全体は田畑や果樹園が広がります。又飯塚には農業用ビニールハウスが点在し、きゅうりの里と称賛されています。山形五堰の一つ笹堰が地区の中央を東西に流れ須川に合流し、四季の景観は心のやすらぎです。榎沢は、東北中央自動車道山形中央インターに近接し東西南北の主たる幹線道路に通ずる、とても利便性の良い地区です。近年は山形中央インター産業団地の整備が進みつつあります。

飯塚には一九六三年創業の(株)モミの木の本社工場があり（おせんべい工場）一九八六年にリンゴチップが第二五回世界食品コンテスト（モンドセレクション）で最高賞のゴールドメダルを受賞、さらに第四五回では山寺焼せんべいが金賞を受賞、地区のメイン企業としてさらなる発展を期待します。

毎年八月の須川河



わが街自慢



東沢地区

江口 矩雄

今回は、「東沢ホタルの里」について紹介します。

山形市民の水瓶である蔵王ダムを源とする馬見ヶ崎川の清流を保存しようという事で、昭和五十九年に、東沢ホタルの会が結成されました。

当初は、ホタルの生育調査を行い、ホタルの里づくり先進地の視察、学習会を経て、ホタルの幼虫の飼育や、放流、河川の清掃などを行い、多くのホタルが飛び交う里づくりを行いました。現在は、ホタルの生息する河川の清掃を通じ、環境美化活動、七月には会員

による現地案内、ホタルの成長過程や自然環境保全について学ぶ小学校での出前講座、ホタル観賞会を長年実施しております。このことが、馬見ヶ崎川の清流保

存に貢献しているというこ

とで、環境庁選定「ふるさといきもの里ゲンジボタル」に認定されています。

更に、今年十月、県の地域環境の保全に努めた団体などを顕彰する「環境やまがた大賞」の大賞に、東沢ホタルの会が選ばれました。シーズンには、見事に飛び交うホタル観賞に足を運んでみてはいかがでしょうか。



この道

第十地区
柳谷 脩一

もし、この道を選ばなかったら今頃、どこで何をしていただろう。選んだ仕事は『書道家』とは言え、書道研究家……と言えよう。この仕事に今まで関わってきたとは言え、何もやってないような、一つも満足して仕事や作品を残してないように思える。地元の高校を出て、親に東京に出して貰ったのが始まりであった。子供の頃から多くの先生方に出会い、様々なこと

を学ばせて頂いた。東京では専門の大学に入り、最後に文化勲章を頂き日本一になった偉大な先生に師事することができた。

山形から出て行き、二十八年間、一筋に師の元で勉強させて頂いた。そこから多くの展覧会に挑戦し、失敗と挫折の連続であった。もともと団塊の世代で、多くの仲間が競い合っていた上に、全国から我こそはと実力のある、実績のある者との戦いの連続であった。しかも世襲性もあり、なかなか出世が難しい世界であった。年間、大小含めて多くの展覧会があり、負担も大きくなかなか生き残れない現実との戦いがあった。道は奥深く学問や練習に励み、少しでも良い作品に辿りつきたい。

東京での十二年間、山形の現在、中学・高校や大学の講師などで出会えた多くの関係者や生徒たち。この道を通して得ることができた多くの財産である。今後も作品制作に悩みながらも研鑽に励みたい。

シルバーとの出会い

鈴木一地区
荒井 幸男

私と山形シルバー人材センターとの出会いは、約四年前になります。愛好会の中に、「そば愛好会」が有るのを知り、入会し美味しいそばを食べたいと、軽い気持ちでした。そばの名店の食べ歩きや、そば打ち体験などしながら、約十ヶ月たった頃、シルバーの事務所から連絡があり、山形大学小白川キャンパスの仕事で欠員が出たので、働きませんかと話があり、快く引き受ける事になりました。

業務内容は、基盤一、二、三号館と広範囲で、教室はもちろん、会議室、情報センター、多目的室、トイレ、外回りの清掃と樹木の剪定、雪囲い、雪が降れば、各玄関前と通路の除雪と多彩な業務内容です。

大変な時もありますが、リーダー、サブリーダーの指導のもと、

と、事故の無い様、体調管理に気を付け、仕事に励んでもう三年になります。

学生さんの中には、留学して来た方もいて、朝の挨拶で「おはようございます」と声を掛けると、「オハヨウ」と片言の日本語でかえってきた時には、私の気持ちを通じたのかと思いつつ、シルバーの会員になって良かったとつくづく思います。

仕事は忙しく、そば愛好会の方は残念ながら退会しましたが、新そばの季節、美味しいそばを食べ、又そば打ち体験などできればと思っています。

健康

第七地区 佐々木重利

シルバー人材センターの会員になって約四年になります。また学校の駐車場管理に勤務して三年半になりました。学校では春休み夏休みが約一ヶ月半ずつ有ります。その時は霞城公園や色んな所に散歩に出かけます。すこしでも足腰を鍛えておくと



多員の

健康・趣味

家庭菜園との出会い



鈴川三地区
長谷川 仁

企業戦士と言われた団塊の世代の一人である私は、ふと気がつくとい何の趣味などもなく定年後の自分を考えると「このままではダメだ、何とかしなくては」と焦りにも似た感情が沸き起こった。早速、庭を作り直し端に三坪程の畑を作り、キュウリ、トマト、ナスを植え始めた。何の知識もないため家庭菜園の本を買い集め読みあさった。収穫の喜びを感じながらも、もつと何か植えたいと考えているところに、隣人から「近くの畑を二人でやらないか」と誘いを受け、じゃがいも・玉ネギ・葉物野菜等を植えられるようになった。平成二十五年春には、知人から「嶋北地区で畑が空くのでやらないか」と誘われ三つ目の畑を借りることになった。ここは総勢十人が借りて耕運機も共

めです。また妻とドライブ旅行に出かけます。これが一番の楽しみで、妻は旅行に行く近くになると書店に行って、そちらの方面の本を買ってきます。それで見学しました。初めての所、前に行った所など変わって良くなっていました。急ぐわけではないから、ナビに従って一般道路を走っていきま

同使用する本格的農園である。春には一人当たり一tから二tの熟成牛ふんを入れ農家の方にトラクターで耕運していただいている。五十坪もあると仕事のない日のほとんどは畑に出て、お日様を全身に浴びながら実に健康的な生活を楽しんでいる。年間三十種の野菜を収穫し、子供達、姉妹、近所、親戚、友達にお裾分けをし、妻と共に「野菜外交」に勤しんでいる。あと一年余りで古希になるが、健康のためにシルバーの仕事と畑仕事を続けていこうと自分に言い聞かせている。

寄稿

日本一の児童劇団

鈴川二地区 加藤 芳男



「山形児童劇団」は、昭和四十八年の市民

皆さんは、山形市に日本一の児童劇団が活動している事をご存じでしょうか？

ました。現在劇団員は、市内の小学三年生から六年生までの五十名。この劇団を指導するのが、私も所属している「山形児童劇研究会」です。その中で私は、脚本部と演出部に席を置き、演技指導や、時には役者として舞台を務めて、まもなく四十五年になるうとしております。

今年の第四十三回公演は、二月二十五日（日）、山形市民会館大ホールで午前と午後の二回公演。入場無料ですので、ぜひお孫さんと一緒に、又、家族揃って楽しんで頂きたいと思っております。

子どもたちの一生懸命な姿と歌と踊りに必ずや感動頂ける事を約束します。「子供達の成長は 自分の成長であり 子供達によるこびは 自分によるこび」この精神を肝に銘じ、今なお演劇活動を楽しんでいきます。

二月二十五日、市民会館で、皆様のご来場をお待ちしております。



阿部 昭夫
(株)ヨークベニマル落合店

山形市総合スポーツセンター北側に、昨年四月大野目店より移転オープンしたヨークベニマル落合店を訪ねた。

ここに派遣業務で、商品（加工食品の菓子類・珍味・清涼飲料水・味噌・醤油等多種類）の陳列や補充業務で就業している会員が合計二十六名いる。勤務は二日就業して二日休みの交代制である。一日の就業時間と人数は午前八時から二時間の十名、午後は三時から二時間の三名である。それぞれ品出しする商品の担当場所が決まっているとのこと。就業前に必要があればミーティングをして連絡事項や注意点を確認しているとのこと。

業務で注意している点は、お客様が見やすく、買いやすいように陳列をすること。またお客様への挨拶や、お客様に質問された時の対応、そして食品を扱っているだけに、

特に衛生面に気を付けているとのこと。また苦勞しているのは売り出しで大量の商品が入荷した時、仕分作業が大変なこと。

業務を通しての喜びは、仲間と一緒に仕事ができるのがとても楽しいと。就業している会員それぞれが、とても若々しく、はつらつと働いている姿にすごく感動した。

(取材・広報部)



就業会員を訪ねて

矢口 健
(医療法人社団緑愛会 友結)

桜田西住宅街にある医療法人社団緑愛会 友結(ゆうゆ)を訪ねました。ここでは男性会員二名がデイサービス利用者の送迎業務に就業しています。

友結の山田所長は「平成十六年四月開設。デイサービス定員三十名、グループホーム十八名入居で介護サービスを提供しています。六台の送迎車があり、二年前からその中の一台、ハイエース(九人乗り、車椅子リフト付き)での送迎をシルバーさんをお願いをしています。介護職員一名が同乗し、計二名で送迎をしています。計二名で送迎をしています。計二名で送迎をしています。」とのこと。

会員の就業は年間休み無しで、二名で交代勤務、月約十五日の就業になります。勤務時間は利用者の迎え午前八時～十時、送り午後四時～六時の一日二回です。施設との連絡は車に設置されたハンズフ

リーの携帯電話で行っています。

タクシー運転歴十九年の矢口さんは、市付近の地図は記憶しており、目的地の目標物が分れば、最短で行くことが出来るのでカーナビは使わない。①スピードを出さない②信号が青でも信用しない③凸凹道でもバウンドをさせないが安全運転の基本。また健康も大事で、時間を見つけては好きな山登りをして体を鍛えています。玄関に落葉などがあれば気になり掃き掃除をして、玄関で「ありがたうございました」と一札をして帰宅しています。(取材・広報部)



シルバーに

人あり 技あり

心あり

音楽に魅せられて



東沢地区

加藤 洋一

静かな住宅街にあるご自宅を訪ね、ピアノ、バイオリン、チェロが置かれている部屋で取材をさせて頂いた。

楽器との出会いは小学生の頃、母親の勧めで姉と一緒に習い始めたピアノとのこと。だが中学

生の頃、テレビの音楽番組でクラシックのバイオリン演奏に魅せられ、自分も弾きたいという一心から小遣いを貯め、バイオリンを購入。しかし当時、バイオリンを教えてくれる先生はほとんどおらず、たまたま山形大学正門近くでバイオリン



ケースを持った山大生に遭遇し、声をかけ自宅でのレッスンをお願いした。学生は快く引き受け、すぐに来てくれ家族でもてなした。それ以来、月に二回くらい教えて頂いたとのこと。

三十代半ばになり、煌びやかなバイオリンの音色も良いが、チェロの低く渋い音に惹かれ楽器を変更。演奏曲は主にクラシックだが、ポピュラーなども弾く。演奏は弦楽合奏団や、稀に結婚式、幼稚園でもする。

趣味として、一人で自らの曲想に基づき演奏を楽しむのが好きと。最後にチェロの演奏をお願いし、写真を撮らせて頂いた。

(取材・広報部)

新入会員紹介

(十月一日〜十二月三十一日まで)

第四地区	渡部 和秀	飯塚・樫沢地区	横尾 悦郎
	渡部 洋子		長岡 文男
	加藤 信昭	東沢地区	武田 政弘
第五地区	高橋 緑		黒木くに子
	榎 京子	滝山一地区	今田 宜秀
第六地区	大平美紀子		丸川 勝良
第七地区	中村 忠	滝山二地区	齋藤 洋子
西地区	滝口 清志		長村 弘
第八地区	庄司 宏三	出羽・明治地区	田苗 春美
第九地区	船山 孝雄	山寺・高瀬地区	大友智恵子
第十地区	鈴木 和久	楯山地区	中村 武
鈴木二地区	渡辺 順子	南山形・本沢地区	鈴木 啓子
	寒河江 攝子	南沼原地区	矢口 健
	大場 義之	西部地区	加藤 保子
鈴木三地区	大久保義信		西村 雅敏
			佐々木ヒデ子

事務局だより

(山形市) 山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(〇三三)六四七七一六四七

配分金Ⅱ所得税法上の取扱い

シルバー人材センターの仕事をして得た『配分金』は所得税法上では「雑所得」として取り扱われますので、課税対象者になると思われる会員の方は各自において最寄りの税務署に申告が必要となります。

公的年金等控除額

【公的年金等の収入金額－公的年金等控除額＝公的年金等に係る雑所得の金額】

受給者の区分	その年中の公的年金等の収入金額(A)	公的年金等控除額
年齢65歳以上の人 (昭和28年1月1日以前に生まれた人)	330万円以下	120万円
	330万円超410万円以下	(A)×25% +37万5,000円
	410万円超770万円以下	(A)×15% +78万5,000円
	770万円超	(A)×5% +155万5,000円
年齢65歳未満の人 (昭和28年1月2日以後に生まれた人)	130万円以下	70万円
	130万円超410万円以下	(A)×25% +37万5,000円
	410万円超770万円以下	(A)×15% +78万5,000円
	770万円超	(A)×5% +155万5,000円

URL: <http://webc.sjc.ne.jp/yamagatashi>
E-mail: yamagatashi@sjc.ne.jp

センターでは、平成二十九年分の配分金の合計額を証明する『配分金支払証明書』を発行します。必要な方は一月二十六日までに事務所へご連絡下さい。二月二日以降に事務所窓口で交付いたします。また、派遣事業で就業して得た『賃金』は、「給与収入」として取り扱われます。山形県シルバー人材センター連合会より源泉徴収票が送付されます。

『配分金』については、租税特別措置法第二十七条の「家内労働特例」により六十五万円の控除が認められております。配分金以外の収入がない場合には、基礎控除三十八万円を含めて百三万円まで所得税が課税されないこととなります。配分金他に給与収入がある場合は、六十五万円から給与所得を控除した残額が特例で控除できる金額です。また、公的年金を受給している場合は配分金とは別に所得控除が受けられます。公的年金

控除額は上記のとおりです。なお、配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得控除及びその他の控除については、税務署にお尋ねください。

お知らせとお願い



配分金支払日

- 一月十九日(金)
- 二月二十日(火)
- 三月二十日(火)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 一月十一日(木) 十八日(木)
- 二月二十五日(木)
- 二月一日(木) 八日(木)
- 三月一日(木) 八日(木)
- 三月十五日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

- (就業) に関する相談です
- 一月十一日(木)
- 二月八日(木)
- 三月八日(木)

あ と が き

新年、明けましておめでとうございます。おかげさまで、一二九号が無事発行されました。読みやすく、親しみやすい会報をめざし、広報部員一同、努力を重ねております。

表紙には、季節感のある風景写真を配置し、「人あり技あり心あり」では、これほど音楽に魅せられた方もおられるのかと、驚かれるような内容になりました。「就業会員を訪ねて」では、プロ意識を持ち、仕事先からも大変信頼されている方を紹介しております。

これからも、皆様に愛される会報を目指し、「アンケート調査」や、「会報のモニター」を実施し、より質の高い「シルバーやまがた」を作って参ります。

今後とも、皆様のご協力をよろしくお願いたします。